

平成22年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

教育センター（電話：0857-28-2321）

8目 教育センター費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
【とっとり人財育成プロジェクト】みんなでチャレンジ教材開発事業（再掲）	(8,407) 6,628	(3,000) 3,000	3,628			(1,779)	(6,628) 6,628	
トータルコスト	23,571千円（前年度19,570千円）[正職員：2.1人]							
主な業務内容	学習教材の開発							
工程表の政策目標（指標）	・学習意欲の向上、学習習慣の確立につながる学習教材の作成							
※上段（ ）内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額								
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
小中学校の国語、算数・数学における基礎的基本的な知識及び技能の定着と学習習慣の確立を目指し、鳥取県独自の教材開発を行う。								
2 主な事業内容								
(1) 教材開発検討委員会の開催								
○本県児童生徒の実態を生かした教材開発の在り方								
○児童生徒が自ら学べる効果的な教材開発の在り方								
(2) 県教育委員会事務局指導主事・研修主事で構成された教材開発チームを中心とした教材開発								
○小学校5年生から中学校3年生対象のドリル問題編、解答編を作成する。								
○協力校で試行実施する。								
○教材のデータ配信を行う。								
(3) ドリル作成にあたり、その作成作業を補助、支援する非常勤職員を雇用する。								
(緊急雇用創出事業を活用：商工労働部一括予算計上)								
雇用創出人数 2人								
3 これまでの取組状況、改善点								
【進捗目標】国語、算数・数学の小学校1年生から中学校3年生対象のドリルを作成								
【現状】小学校1年生から小学校4年生までのドリルの作成及び協力校での試行を実施した。								
協力校での試行や教材開発検討委員会の意見を取り入れ、問題の作成にあたっては鳥取県の特色を示す写真やイラストの引用を行い、解答編に解説を入れ自学自習できる工夫をするなど使いやすいものにした。								